

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：D-13-1				
事業名：住宅・建築物安全ストック形成事業（がけ地近接等危険住宅移転事業）				
事業費：総額 140,987 千円 国費 105,740 千円 (内訳：補助金 140,987 千円)				
事業期間：平成 24 年度～平成 29 年度				
事業目的：津波の危険から住民の安全を確保するため、災害危険区域内の既存不適格住宅等の移転を行う者で、集団移転とは別に移転する者に対して建物助成費を交付する。 事業地区：荒浜・吉田地区				
事業結果 平成 24 年度～平成 29 年度 建物助成費（利子相当分）36 件				
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>○本事業により、住宅再建が早期かつ円滑に進み、安定した生活基盤を確保することができた。</p> <p>⇒上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。</p> <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>○当該事業費は、当初の事業計画にて計上した予算内で実施しており、妥当であると考えられる。</p> <p>⇒上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。</p> <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <p>○当初の事業計画は平成 24～26 年度の 3 カ年であったが、住宅再建を決めきれない方や、個別移転を希望しているがまだ移転していない方などが多数残っている状況から、被災者のニーズに合わせ平成 29 年度まで期間を延長したことで、『亘理町震災復興計画』における「生活支援の充実」「住環境の再建への支援」の実施が図られるなど、事業手法は適切なものと考えられる。</p> <table border="1" data-bbox="311 1680 1284 1780"> <thead> <tr> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 24 年 6 月～平成 27 年 3 月</td> <td>平成 24 年 6 月～平成 28 年 2 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>⇒当初の想定事業期間内から遅れたものの、期間延長により被災者のニーズに応えることにより効率的に事業を進められたことから事業手法として妥当であったと判断する。</p>	想定事業期間	実際の事業期間	平成 24 年 6 月～平成 27 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 28 年 2 月
想定事業期間	実際の事業期間			
平成 24 年 6 月～平成 27 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 28 年 2 月			
事業担当部局 亘理町福祉課被災者支援班 電話番号：0223-34-0548				